

笹谷榮氏 JICAシニア海外ボランティア 出発

三沢つばさ会の笹谷氏は、この度、JICA(国際協力機構)シニア海外ボランティアとして、メキシコ合衆国ケレタロ州にある公共教育省傘下の国立職業技術高校3校を管轄する州事務所において、労働安全衛生アドバイザーとして活動することとなりました。同事務所において、学校の実験室等が安全衛生上の国際基準を満たすよう2年間指導するとのことです。

海外協力隊員ら3人
抱負と活動成果報告
副知事表敬
国際協力機構(JICA)
青年海外協力隊員とシニア



記念撮影に納まる(右から)笹谷さん、佐々木副知事、成田さん、山田さん

海外ボランティアとして10月から2年間派遣される2人が19日、県庁に佐々木郁夫副知事を訪ね、抱負を語った。また、帰国した海外協力隊の隊員が現地での活動を報告した。

メキシコの職業技術高校に配属されるおいらせ町の元航空自衛官笹谷榮さん(66)は国際基準に沿った危険物や薬品の管理などを施設管理者にアドバイスする。

アフリカのウガンダに派遣される弘前市の看護師成田智美さん(32)は地域中核病院で、整理整頓や清潔な職場環境の改善を指導。「忙しい看護師の労働環境が良くなれば、患者の療養環境も良くなると思う。文化や習慣も違うので大変だが、少しでも改善したい」と意気込んだ。

2016年6月から2年間、エチオピアでバドミントン指導した弘前市の山田廣輝さん(25)は「固定概念を持たずに挑戦することが大事」と2人にアドバイスを送った。

佐々木副知事は「これまで蓄積した技能や知識を大いに役立てて」と激励した。(山本光)

30.9.20(木)
東奥日報

JICA 笹谷さん(おいらせ) 2年間メキシコへ



佐々木郁夫副知事(手前)から激励を受ける笹谷榮さん(左)と成田智美さん

副知事激励「技術役立てて」
掃などを浸透させた「い」などと国際貢献への思いを伝えた。

青森県内から国際協力機構(JICA)をは、シニア海外ボランティアとしてメキシコに派遣される元航空自衛官の笹谷榮さんに佐々木副知事を(66)おいらせ町、各校で労働安全衛生について指導。成田さんはウガンダの病院で労働環境の改善を図る。また、エチオピアから帰国した山田さんは、中学から大学まで汗を流したバドミントンの普及や代表チームのサポートに努めた。

佐々木副知事は出発する2人に「現地で技術や経験を役立ててほしい。青森県を身近に感じてもらえれば」と激励。笹谷さんは取材に、「メキシコの人々に喜ばれるような活動をしたい」と語った。(王子鉄平)

としてウガンダに赴く看護師の成田智美さん(32) 弘前市、同隊員でエチオピアから帰国した山田廣輝さん(25) 同市。

笹谷氏は、昨年も南米ガイアナ共和国の警察本部へ、警察無線・GPS・水上警察船舶レーダの電気通信アドバイザーとして、派遣されており、今回は2回目の派遣。 出発は10月中旬の予定。

30.9.22(土)
デイリー東北